

授業指導案（美術科）

令和5年度9月 日第 校時

授業者

3年

題材名 色から広がるアートの世界 「B鑑賞（1）ア（ア）共通事項【1】ア、イ」

1 題材設定の理由

3年組の生徒はこれまでに「ゲルニカ」と「仏像」の鑑賞を行った。作品に込められた思いを感じとることや表情、ポーズ、描かれているものなど細部に注目しながら造形的なよさを捉え、自分の考えをまとめることができる生徒がいる一方、作品の特徴をどのように捉えればよいかわからず活動に意欲的に取り組めない生徒や、自分の意見をうまくまとめられない生徒もいる。これまでの活動で取り上げた無彩色の作品からは色彩のよさに言及しにくいこともあり、同じような意見が多くなったことも課題である。また、教師が提示した作品のみで自身の考えをまとめるだけでなく、美術作品の多様性に気付くことや、自身が興味を持つ作品と向き合い、美術作品の造形的なよさを感じとる時間も必要であると感じる。色彩に富んだ作品を自ら自由に選択することができる機会を設けることは、造形的な見方や考え方を深めることにつながると考える。

本題材では Google Arts & Culture を使用する。色ごとにカテゴリ化された作品の中から自身の興味関心に合う作品を3つ選択できるようにする。複数枚の作品を選ぶ活動を行うことで、多くの作品に触れることになり、それぞれの面白さを感じることができる。また色彩豊かな作品を鑑賞することで、造形的なよさを感じとることにに対して難しさを感じる生徒も作品に対して向き合いやすく、苦手意識をもたずに鑑賞活動に取り組めるのではないかと考える。色彩から得られる美しさやよさを感じ取りながら、描かれているものの形の特徴を捉え、造形的なよさや色彩が私たちに与える効果について深く考える機会としたい。この鑑賞活動を通して、美術作品の多様性に気づくとともに、自身がどのような作品に興味関心があるのか、こういった部分に面白さを感じているのかということにも気づくことができるようにしたい。活動ではタブレットの拡大機能を活用することで、描かれているものの細部まで鑑賞できることを伝え、造形的な特徴やよさがより感じられるようにする。各自が選択した作品を鑑賞し合うことで、互いの考えや注目している部分の違いなど、個性や多様性を認めることのできる心情を育てたい。

2 題材の目標

- (1) 選択した作品に描かれているものや色彩などの性質、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。
- (2) 作品の造形的なよさや美しさ、色彩、描かれているものの面白さ・不思議さなどを感じとるとともに、作品に込められた思いを自分なりに考え、自身の見方や感じ方を深め、自分の言葉で表現する。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に意見を共有するなどして鑑賞の学習活動に取り組もうとする。

3 題材の評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に取り組む態度 |
|---|--|--|
| <p>選択した作品に描かれているものや色彩などの性質、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</p> | <p>作品の造形的なよさや美しさ、色彩、描かれているものの面白さ・不思議さなどを感じるとともに、作品に込められた思いを自分なりに考え自身の見方や感じ方を深め、自分の言葉で表現することができる。</p> | <p>美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に意見を共有するなどして鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p> |

4 指導と評価の計画（全2時間 本時1/2）

| 時間 | ねらい・学習活動 | 評価の観点 | 留意点等【評価方法】 |
|----|--|----------------------|--|
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> 色と描かれているものに注目し、Google Arts & Culture の作品の中から好きな作品を3つ選ぶ。 自分の注目した部分やよいと感じる部分について、友達と伝え合う。 選んだ作品のスクリーンショットとトリミングを行い、次の活動の準備をする。 | <p>知○</p> <p>思◎</p> | <ul style="list-style-type: none"> Google Arts & Culture の中から作品を選択し、タブレットの拡大機能を活用しながら細部まで鑑賞することを伝え、作品の造形的なよさや美しさ、色彩、描かれているものの面白さ・不思議さなどを感じ取り、選択できるようにする。 【タブレット・観察】 |
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> ワークシートに自分が感じた作品のよさを言葉でまとめる。 他の生徒の意見を聞き、自分や友達在选择した作品のよさを感じる。 | <p>思◎</p> <p>鑑態○</p> | <ul style="list-style-type: none"> MetaMoji のワークシートに記入することで、選択した作品に描かれているものや色彩などの性質、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えたことをまとめられるようにする。 【タブレット・観察】 なぜその作品を選択したのか、色彩や造形など、魅力を感じた部分についてまとめた MetaMoji のワークシートを用いながら、具体的に述べるよう促す。 【発言】 友達の意見を聞き、互いの自由な発想や思考を感じ取りながら、自身の意見を伝える様子、自分ならどう考えるかといった眩きがあるかを観察して学習状況を把握する。 【ワークシート・発言】 |

5 本時

(1) 目標

様々な作品の造形的なよさを感じ取ろう。

(2) 展開

| 時間 | 学習活動 | 指導上の留意事項 | 学習活動における 具体の評価規準 | 評価方法 |
|----|---------------------------------------|--|--|----------------|
| 5 | 1 本時のめあてを確認し、学習への意欲をもつ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今回用いる Google Arts & Culture の使い方と、活動内容を把握するためにプロジェクターで表示する。 ・本時の活動の流れをホワイトボードに表示する。 | | |
| | 様々な作品の造形的なよさを感じ取ろう。 | | | |
| 15 | 2 タブレットを用いて自分の好きな作品を3つ探す。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ Google Arts & Culture 内の「色で検索」から自分が興味のある色を1色選択するよう教師用タブレットを実際に操作しながら説明する。その中から興味を持った作品を3作品選ぶよう促す。 ・前に掲示したプロジェクターで Google Arts & Culture を実際に操作し、鑑賞方法を例示するとともに、鑑賞の観点を示す。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ Google Arts & Culture の作品の中から造形的なよさや美しさ、色彩、描かれているものの面白さ・不思議さなどを感じ取りながら作品を選択しようとしている。 | タブレットを用いた活動の様子 |
| 15 | 3 選んだ作品の中から1つ選び、どの部分に興味関心を持ったか発表する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教師用タブレットを操作させ、プロジェクターに選択した作品を投影し、作品を選んだ大まかな理由を他の生徒に伝えるよう促し、各自が注目している部分や作品の面白さを伝え合うとともに、自身の活動に生かすよう伝える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・タブレットの拡大機能を活用し、作品の造形的なよさや美しさ、色彩、描かれているものの面白さ・不思議さなどを感じるとともに、作品に込められた思いを自分なりに考え | |
| 10 | 4 自分が選んだ作品をスクリーンショット・保存し、次回の活動の準備をする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・手順を記入したプリントを活用しながら、選択した作品をスクリーンショットで保存する。 ・支援が必要な生徒に対して拡大したワークシートを使用し、活動に取り組めるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> 自身の見方や感じ方を深め、自分の言葉で伝えようとしている。 | 活動の様子 発言 |

| | | | | |
|---|----------------------------|--|--|---------|
| 5 | 5 本時の学習を振り返り、次回の学習の見通しをもつ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・次回の活動でMetaMojiのワークシートにトリミングした作品を貼り付け、タブレットの拡大機能を活用しながら作品に何が描かれているのか、どのような色使いかなど細部まで注目するという内容を伝え、活動に見通しをもって取り組めるようにする。 ・自己評価シートを用いて振り返りを行う。 | | 自己評価シート |
|---|----------------------------|--|--|---------|

(3) 評価及び指導の例

| | |
|-----------------------------|---|
| 「十分満足できる」と判断される状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ Google Arts & Culture 内の多くの作品に触れ、作品の造形的なよさについて感じ取ったことを自分の言葉で表すことができている。 ・ なぜその作品を選んだのか、どこに魅力を感じたのかを形や色彩などに則して具体的に示すことができている。 |
| 「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達と意見交換する機会を設け、注目する観点について把握させ、具体的な記入例を提示する。 |